

労働保険事務
組合へ加入で
経費の節約を

社団法人 大森工場協会 会報

第17号
昭和62年10月1日
発行 社団法人 大森工場協会
編集委員会
東京都大田区中央2-11-10
TEL 03(771)4744・(772)6474
FAX (772) 9340
印刷 城南印刷工芸(株)
TEL. 03 (752) 3391

YMクラブ9月の例会 自社の過去・現在・未来 フリートキングで活発に行なわれる



谷川岳を背に、天神平に勢揃い
— 9月27日 — 円内はサンデン(株)工場見学風景

若き経営者の悩みと将来

目についた立地条件の悪化 注目される行動力とその動向

最近の新聞の見出しを拾ってみると、円高もう怖くない、中小の適応力が向上(8月24日・日刊工業)雇用情勢にも明るさ、中小も着実に回復、輸出関連は緩やかと底打ちの気分を見せた記事が並んでいるが、中小の工業関係者には厳しい状況がまだまだ続いている。更に、戦略工業拠点に、羽田空港隣接大規模工場跡、再利用へ要望書(日刊工業・9月8日)とか、JR・東急蒲田(京急蒲田)新鉄道構想実現、研究会発足(日本経済・8月30日)などがあり、環境立地条件も大きく揺れ動いている。

この変化の激しい現状を大森工場協会のヤング・マネージャー達はどう見すえ、対処しようかと考えているのか、9月12日に行われた定例会からの発言を要約してみた。

茨城に新工場

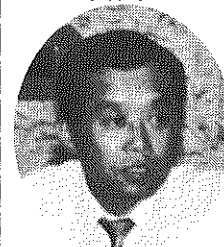
創業25年。弱電関係の部品のプレス加工。過去は良い時が少し、悪い時が長く続いた気がする。現在はどん底。寝っ転んで仕事をしている状態。これから四つん這いになっても這い上るといふ覚悟だ。



浅沼博昭



木村洋一



丸山 旭



竹内栄多

プレス加工なので騒音と振動の公害問題に悩み移転を考えた。千葉に土地を求め、いざ建てようとした所、回りに住宅が建ち並び始末。今は茨城の工業専用地域に土地を確保し実行にうつす所だ。これからは茨の道。後継者に借金だけは残さぬようにと頑張るのみ。

新商品を手さぐり

創業30年。重厚長大の時代は大きな物をやっていて、非常に忙しかった。軽薄短少になって設備が余ってどうしようもない。ここは持ちこたえて新しい商品を考えていきたい。

現在をいかに生きる

過去は意味がない。未来はわかるはずがない。必要なのは、いかに現在を生きるかということだが、それがむずかしい。

父の意志をついで

昔は海苔を切る機械をやっていたが景気はよくなったようだが、零細会社なので円高の影響をものろに受けている。未来といわれても一週間先が見えない。会社が商店街の端にあつて、道が今流行のレンガに変わる。なおさらやりにくくなりそう。5年先には現在の場所では仕事が出来なくなるのではという感じ。父親の残した会社なので、頑張っていきたいと思つては居るのだが。

工場以外のなにを?

※次頁につづく

先端的な仕事を確保

父が国鉄の仕事を始め、30年。10年前までは安定していた。国鉄の赤字続きに仕事の内容を変え、油圧部門・重量計を手始めに、電子部門・ロボット、半導体、OAと広げて来た所、円高と半導体の問題で、7割もの大巾減、なんとか赤字を出さずにしのいできたが、11月頃には50%にも直しそう。これから先、時代に合った先端的な仕事を確保し、仕事内容を変えていかなければと思つている。

買われる会社に

50年同じ事をやっている、50年前と同じ道具も使っている、50年という。郷土博物館で見たら、うちで使っている物よりも新しい道具が並んでいた。親父の跡をうけて何かやろうかなと考えるながら同じ事をやっているのが現在だ。未来は、これは希望だが、自分

楽できる苦勞を

親父の会社に入つて20年になる。親父は徹夜してもやれとか、頑張ればいいとか言うが、そういう事では済まない時代だと思つて。若い人と一緒に考えて、先にいって楽できる苦勞をしたい。

少数精鋭主義で

創業30年。部品加工では先がなような世の中で心細いが、少数精鋭主義。全社一丸となって乗り切れば明日は開けると頑張るのみ。

新しい仕事に挑戦

創業40年。20年前の父の死で、大学生の私が後を継いだ。従業員が皆年上だったので辛かった。カーボンを製造していたが、公



久我正剛



伊藤誠二



森崎真洋



吉田 彰



松尾 誠



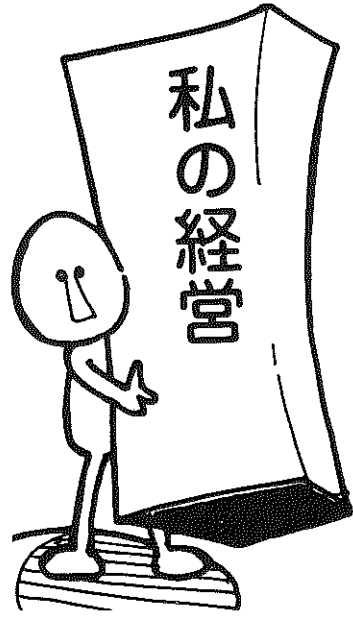
芦田真実

ガス管でシェア100%

信頼される製品で前進

新社屋建設が念願

昭和23年 現在地に父君大崎悟氏が大崎製作所を設立。
昭和29年 大崎精密工具製作所として改組。



大肯精密(株) 代表取締役 大崎和夫

現社長、大崎和夫氏(47)は、昭和38年に武蔵工大経営工学科を卒業、パイロットになる夢を断念されて入社。53年に社長職を継いだ。

社長に就任して、最初に取り組まれた事は、明治生れの先代社長の下で、与えられた仕事を黙々とやっていた社員意識改革である。それまでややもすると発言する機

今回お訪ねした、大肯精密(株)はガス・水道の配管工事に使用される穿孔機(各家庭へガス・水道を引くために本管に穴をあける装置)の製造・販売をしてる会社です。ガス部門ではシェア100%の実績を誇り、水道部門では40%のシェアではあるが、徐々に拡大を目指す。技術開発においても、安全性を追求した改良や、新製品の開発に取り組まれ着々と成果を上げています。



会もなく、消極的であった社員に発言する場を与えコミュニケーションを図っていった。提案箱も設けたがこれは書くのがわずらわしいのか、じきに廃止された。しか

親父の代から35年、二代目。過去はよかった、現在は悪い、未来はもっと悪い。

商売は木型や金型製作。自動車関連で結構花形だが、機械設備の回転が早く、1、2年前に入れた最新鋭機が、もうこんな機械遅いや駄目だといわれる。しかも自動車産業は内省化が進

より付加価値の高いものを

現状は非常に悪い、4月から8月で25%のダウン。人件費を減らした。左隣の会社がやめて坪400万で決ったようで、不動産屋がうちにも来て、ここはもう工場をやる地域

超伝導体に期待

工業用マシンと設備産業機械の仕事をやっている。今年の春から



高橋 登



矢沢俊康



磯上雄司

小さな会社は無理して設備を入れるか、又はやめるかだ。いっそ金型をやめて、職人も少なくなつて、50年前の機械でやる木型にしぼつたらとも思う。気持ちの上では1、3位商売転換を考えている。皆さんに聞きたい、鉄をいじってきた私の会社が何をやればいいのか。

おのれにインパクトを

従業員が今のまま働いても、家も持てない。すると今の仕事をこのまま続けたいのだからか。会社の為にするか。自分個人の為にするか。選択しなければならぬ。はつきり言って、今の従業員と今の仕事をしても先が見えていない。未来につながるインパクトを自分にぶちこむ、これにつぎる。

ファースト・

フードはいかが

創業は私が生まれた年。入社は3年前。個人経営を法人にした。

探しだす決意を!

これが昔、あの京浜工業地帯を支えてきた仲間のご子息の話かと思つと、はなはだ悲しい。どうやってしのぐかといえ、やっぱり努力しかないと思う。私の頭には明日は残念ながら、描くことが出来ないが、自分の知識にあるか、先輩の歩いて来た道にあるか、だろう。

それを探し出さなければ口惜しいではないか。



好きな店 するがや通り "館"

カフェ・バー、プール・バー、なごりフレッシュしていく。風呂上りの工具さんが、夕食の片付けを終えたおかみさんが、三つまでも親しまれる店、それがミュージック・パブ "館" (YAKATA) である。NHK日曜の正午に放送されているのど自慢のおもむきで、近隣の人が町内の噂話を持ち込みな



平林製作所 代表取締役 平林孝博

々々集まり、にぎやかな談笑を繰り返す。演歌の詩の中にふと感慨を覚え

★技術営業が

情報収集のアンテナ★

現在、大崎社長は営業力の強化と新製品の開発という2大テーマを押し進めておられる。シェア100%を誇るガス部門の穿孔機にしても、メーカーとして2千500種の部品を常備させておかなければならないという苦勞の他に、他の侵入を許さぬ為にも、改良・改善はもとより、新製品の開発という企業努力がなされている。

★社屋の建て替へと

650坪の土地の有効利用が課題★

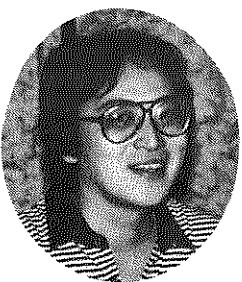
大崎社長のこれからの大きな仕事は、戦後に無造作に建てられた為、効率の悪い650坪の土地の効果的な活用と、求人へのイメージアップを図る意味も兼ねる社屋の建て替えである。趣味はゴルフと車。大学の時も自動車部に籍を置いていた程で、現在のご自慢はマセラッティのエンジンを積んだシトロエンSM。

YMだより

綴り方教室

2年YM組 (株)イチカワ工業専務取締役 市川 稔

時の流れは早いもので、私がYMクラブに参加させて頂いて一年、月に一回の勉強会、レクリエーション、ETCと多彩な行事。私は



なるべく参加しようと思つていますが、何故なら、この行事は私にとって大切な情報収集先なのです。各界の専門家の方々の講演会は勿論のこと、それよりもYMメンバーの先輩方の体験談、アドバイス(仕事のこと、遊びのこと、その他いろいろ)、何と云っても経験豊かな先輩方の話は、日常、自宅

ともあれ、これからは3年生、4年生、10年生と、先輩の方々のお知恵を拝借させて頂きながら、会員の皆さんと共に歩んで行きたいと思っています。